

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	警防救急担当課長	中嶋 健史
消防-06 救急活動事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	警防救急課
総合計画上の位置付け		分野	防災・安全	施策の方針
				消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	救急救命士を含む救急隊員
意図	救急体制の充実を図るため。
効果	市民の救命率の向上を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

救急救命士及び救急隊員を養成し、救急体制の充実を図るとともに、市民を対象に普通救命講習等を実施し、市民の救命率の向上を目指す。救命率の向上を図るため公共施設等に設置した自動体外式除細動器(AED)を引き続き配置する。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	12,911	決算値(千円)	12,387	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	12,911	一般財源	12,387	
事業経費運営	人員配置数	1.5	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	11,696	人件費(千円)	7,668	
	総事業費(千円)	24,607	総事業費(千円)	20,055	
	市民1人当りの経費(円)	139	市民1人当りの経費(円)	113	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	(1)高度化する救急医療体制への対応(2)救命率向上のため市民と連携した救命体制の確立(3)増加傾向にある救急需要への対応	
課題解決のために行った平成26年度の取組	(1)高度化する救急医療体制へ対応するため救急救命士を養成した。(2)市内の公共施設53カ所にAEDを継続配置。救命講習の実施により応急手当の普及促進(3)救急イベント、救急講習時、ポスターの掲出、ホームページ、広報誌を活用し救急車の適正利用を訴えた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	救急出動件数増加に対する対応。	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	これまで実施してきた事業をさらに推進し、特に救急車の適正利用に関しては、あらゆる機会を捉え訴え、市民の需用に備える。	
総評	これまで実施してきた事業をさらに推進するとともに、救急出動件数の増加に対しては、あらゆる機会を捉え、救急車の適正利用を訴える。			

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	救急出動件数(平成26年中)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
人口	173,228	418,308	237,269	257,169	406,994	32,533	57,749	45,988	
出動件数	10,037	22,114	10,243	13,127	22,696	1,574	3,292	3,177	
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口に対する出動件数の動向								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	職員研修による知識等の向上(救急救命士の病院実習等)						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
専門的な知識を取得させ、市民サービスに反映させるため。	目標値	48.0	48.0	48.0	48.0	48.0	48.0				
	実績値	45.0									
	達成率	93.8%									
指標の内容	救急資器材等の維持管理における達成率(高規格救急自動車の配置)						単位	台	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
救急活動に係る、資器材等の維持管理を行い、有事の際、円滑な活動を実施する。	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0				
	実績値	8.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容	救急講習の達成率						単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
心肺蘇生法及びAEDの取扱等を習得してもらい、市民による救命率の向上を図るもの。	目標値	3000.0	3000.0	3000.0	3000.0	3000.0	3000.0				
	実績値	3975.0									
	達成率	132.5%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	救急救命士に対する病院実習等及び救急資器材等の維持管理については、現状を維持し、救急講習に対しては、市民の需要に十分対応するように備える。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---